

## 事務事業評価における総括

部 局 名	議会事務局	記入責任者	栗原 謙二
評価について（現状と課題）			
<p>【事業の達成状況について（現状）】</p> <p>議会事務局の業務計画に位置付けられた重点事業では、9事業のうち8事業については活動目標を達成しS評価としています。また、「ホノルル市・郡議会との交流」については、当該年度における活動目標は達成したが、成果は今後見込めることからB評価としています。</p> <p>【達成できた（できなかった）要因についての分析（課題）】</p> <p>地方分権時代に即した議会となるため全国的に議会改革が求められており、本市議会においても、議会基本条例に基づき、市民の負託に的確に応えるべく議会改革に努めました。</p> <p>開かれた議会を目指す取組としては、市民を対象とした議会報告会・意見交換会を実施したほか、広報・広聴の充実を図るため、本会議・委員会の会議映像をタブレット端末・スマートフォンでも視聴できるようにするとともに、SNSの活用及び議会だよりの紙面刷新について検討し、平成29年度から市議会フェイスブックを開設すること及び平成29年4月発行分から議会だよりを新紙面とすることとしました。</p> <p>さらに、透明性の向上を図るため、政務活動費に係る領収書など証拠書類一式の市議会ホームページでの公表を開始しました。</p> <p>議会運営については、各定例会、各種委員会等の会議を適切に運営することができました。</p> <p>議会制度の検討の取組としては、正副議長選挙への立候補制導入を検討し、平成29年5月の臨時会での選挙から導入することとしたほか、議員の質問・質疑のあり方について検討し、質問・質疑の中で要望はしないこととするなど、よりよい議会運営を目指した取組を行いました。また、分かりやすい議会運営を目指し、本会議での電子採決を導入しました。</p> <p>これらの取組の必要性を全議員が共有できるよう、各種会議などさまざまな機会に合わせ、情報・資料の収集・分析及び提供をし、検討及び実施をサポートしてきた結果、議会が一丸となって取り組むことができたことが達成の要因と考えます。</p>			
今後の方向性			
<p>【政策・施策目標の達成に向けた今後の方向性について】</p> <p>順調に進捗している事業については、継続して取組を進めていくとともに、引き続き、議会基本条例に基づき、議会改革の取組を進めるため、議会内での検討及びその実施を、事務局として強力にサポートしてまいります。</p> <p>なお、議会の交際等に係る経費の見直しや、効率的、効果的な業務の進め方の見直しを進め、より一層の議会に係る経費の縮減に努めてまいります。</p>			